



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 NGK株式会社

コード番号 5333 URL <https://www.ngk.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小林 茂

問合せ先責任者（役職名） 執行役員 財務部長（氏名） 津久井 英明（TEL） 052-872-7230

半期報告書提出予定日 2026年11月6日 配当支払開始予定日 2026年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	371,306	13.8	69,889	43.5	70,395	50.8	60,800	154.7
2026年3月期中間期	326,204	9.3	48,700	22.7	46,667	21.6	23,870	△7.7

（注）包括利益 2027年3月期中間期 54,864百万円（4.7%） 2026年3月期中間期 52,416百万円（682.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	214.66	214.37
2026年3月期中間期	81.58	81.46

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	1,237,456	830,375	66.3
2026年3月期	1,243,330	817,352	65.0

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 821,041百万円 2026年3月期 808,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	38.00	—	42.00	80.00
2027年3月期	—	63.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	63.00	126.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	14.9	130,000	36.8	126,000	32.3	100,000	66.8	354.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	285,993,496株	2026年3月期	292,243,496株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	4,415,126株	2026年3月期	4,632,457株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	283,236,327株	2026年3月期中間期	292,602,011株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(中間連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10

(補足資料) 2027年3月期 第2四半期(中間期) 決算発表 補足資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、通商政策や中東情勢などを巡り不確実性の高い状態が継続したものの、総じて緩やかな成長が続きました。日本経済は、原材料価格上昇などの影響を受けながらも、堅調な企業収益や設備投資、雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復を続けました。米国経済は、輸入関税や高金利による消費・投資への下押し圧力が続く中、A I（人工知能）やデータセンター関連投資が景気を牽引し、底堅さを維持しました。中国経済は、政府による景気支援策が継続されたものの、不動産市場の低迷や個人消費の伸び悩みが続き、力強さに欠ける推移となりました。欧州経済は、実質所得の改善などを背景に内需が持ち直す一方、中国向け需要の低迷を受け、製造業の回復には時間を要しております。

このような情勢のもと、当社グループのエンバイロメント事業においては、グローバルの自動車販売は地域ごとにばらつきがみられましたが、当社製品需要は堅調に推移しました。デジタルソサエティ事業は、A I用途の半導体需要が大きく増加し、当社の半導体製造装置用製品やハイセラムキャリア等の製品を中心に需要が拡大しました。エネルギー&インダストリー事業は、N A S電池（ナトリウム／硫黄電池）の製造及び販売活動終了を前連結会計年度に決定したことにより売上高が前年同期を下回りました。全社では、為替円安による増加も寄与し、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比13.8%増の3,713億6百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は売上高の増加などに伴い、同43.5%増の698億89百万円、経常利益は、同50.8%増の703億95百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、同154.7%増の608億円となりました。これは、投資有価証券の売却益の増加に加えて、本年4月1日に実施した電子デバイス事業の組織再編に伴う影響から法人税等負担額が減少したことや、海外子会社の清算手続き完了に伴い税金費用が減少したこと等によるものであります。

セグメント別には、エンバイロメント事業では売上高は前年同期比8.0%増の2,088億28百万円、営業利益は同25.3%増の460億円、デジタルソサエティ事業では売上高は同32.8%増の1,299億42百万円、営業利益は同45.7%増の196億76百万円、エネルギー&インダストリー事業では売上高は同7.8%減の334億25百万円、営業損益は42億45百万円の営業利益（前年同期は13億74百万円の営業損失）となりました。

なお、当中間連結会計期間より、「エンバイロメント事業」に含まれていた低レベル放射性廃棄物処理装置を、「エネルギー&インダストリー事業」へ報告セグメントの変更をしており、各セグメントの前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で算出しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて58億74百万円減少の1兆2,374億56百万円となりました。これは主として棚卸資産や投資有価証券が増加した一方で、有価証券、有形固定資産が減少したことによるものです。負債合計は、前連結会計年度末に比べて188億97百万円減少の4,070億81百万円となりました。これは主として1年内返済予定の長期借入金、短期借入金等が減少したことによるものです。また、純資産合計は、為替換算調整勘定の減少や自己株式の取得があった一方、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ130億22百万円増加の8,303億75百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、エンバイロメント事業の自動車関連製品では、中国市場を始め弱さが見られるものの、当社製品需要は堅調な推移を見込む他、デジタルソサエティ事業ではA I 関連需要の拡大を背景に半導体製造装置用製品の旺盛な需要が継続する見通しです。上期の為替が円安に推移したプラス効果も寄与し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見通しです。なお、下期の連結業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル150円、1ユーロ175円としております。

(期中平均為替レート 1米ドル155円、1ユーロ180円)

2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	710,000	107,000	105,000	82,000	290.67
今回修正予想(B)	770,000	130,000	126,000	100,000	354.02
増減額(B-A)	60,000	23,000	21,000	18,000	—
増減率(%)	8.5	21.5	20.0	22.0	—
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	670,125	94,997	95,202	59,936	206.32

なお業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	198,166	194,748
受取手形、売掛金及び契約資産	143,929	144,005
有価証券	124,754	106,081
棚卸資産	232,835	249,735
その他	31,461	23,731
貸倒引当金	△509	△512
流動資産合計	730,638	717,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	140,260	139,955
機械装置及び運搬具(純額)	155,456	148,327
その他(純額)	73,467	76,507
有形固定資産合計	369,184	364,790
無形固定資産	6,191	5,905
投資その他の資産		
投資有価証券	85,252	92,564
その他	52,405	56,746
貸倒引当金	△342	△340
投資その他の資産合計	137,315	148,971
固定資産合計	512,691	519,666
資産合計	1,243,330	1,237,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,847	45,378
短期借入金	7,363	1,362
1年内返済予定の長期借入金	35,585	29,467
未払法人税等	12,530	10,736
その他	62,729	64,917
流動負債合計	167,056	151,863
固定負債		
社債	62,000	62,000
長期借入金	139,686	137,539
退職給付に係る負債	19,158	19,428
事業構造改革引当金	12,270	10,574
その他	25,806	25,675
固定負債合計	258,921	255,218
負債合計	425,978	407,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	70,064	70,064
資本剰余金	70,389	70,631
利益剰余金	492,019	516,919
自己株式	△10,458	△16,821
株主資本合計	622,014	640,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,342	48,910
繰延ヘッジ損益	△44	△7
為替換算調整勘定	121,551	112,491
退職給付に係る調整累計額	19,689	18,853
その他の包括利益累計額合計	186,538	180,247
新株予約権	684	624
非支配株主持分	8,114	8,709
純資産合計	817,352	830,375
負債純資産合計	1,243,330	1,237,456

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	326,204	371,306
売上原価	230,309	246,722
売上総利益	95,894	124,584
販売費及び一般管理費	47,194	54,694
営業利益	48,700	69,889
営業外収益		
受取利息	1,351	1,750
受取配当金	1,078	1,212
デリバティブ評価益	—	319
為替差益	1,186	—
その他	1,147	2,141
営業外収益合計	4,763	5,423
営業外費用		
支払利息	1,613	1,406
デリバティブ評価損	1,662	—
為替差損	—	1,061
事業整理損	—	※1 1,084
関係会社清算損	2,822	—
その他	698	1,364
営業外費用合計	6,796	4,917
経常利益	46,667	70,395
特別利益		
固定資産売却益	78	28
投資有価証券売却益	483	2,591
補助金収入	66	159
特別利益合計	628	2,779
特別損失		
固定資産処分損	174	338
減損損失	2,492	579
事業構造改革費用	11,693	—
特別損失合計	14,359	918
税金等調整前中間純利益	32,935	72,256
法人税、住民税及び事業税	12,736	14,816
法人税等調整額	△3,961	△3,874
法人税等合計	8,774	10,942
中間純利益	24,161	61,314
非支配株主に帰属する中間純利益	290	513
親会社株主に帰属する中間純利益	23,870	60,800

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 9 月30日)
中間純利益	24, 161	61, 314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12, 184	3, 568
繰延ヘッジ損益	98	39
為替換算調整勘定	16, 327	△9, 222
退職給付に係る調整額	△354	△835
その他の包括利益合計	28, 255	△6, 450
中間包括利益	52, 416	54, 864
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	51, 701	54, 509
非支配株主に係る中間包括利益	714	354

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

※1. 事業整理損

2023年3月23日に公表した、当社の知多事業所で製造するがいし製品の製造及び販売の終了に関し、当該製品の受注を終了したことに伴う費用又は損失であります。

その主な内容は、棚卸資産の評価損並びに当該資産の廃棄及び当社の義務の履行に伴い今後発生すると見込まれる費用又は損失であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年4月30日の取締役会決議に基づき、2026年5月1日に自己株式6,250,000株を31,006百万円で取得しております。

その後、同取締役会決議に基づき、2026年6月1日付で自己株式6,250,000株の消却を実施いたしました。なお、当該自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、利益剰余金から資本剰余金への振替を行い、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ23,814百万円減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、利益剰余金が516,919百万円、自己株式が16,821百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンバイロメント 事業	デジタル ソサエティ事業	エネルギー& インダストリー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	192,480	97,825	35,897	326,204	—	326,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	844	1	346	1,192	△1,192	—
計	193,325	97,827	36,244	327,396	△1,192	326,204
セグメント利益又は損失(△)	36,708	13,506	△1,374	48,839	△139	48,700

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△139百万円は、セグメント間取引の調整であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンバイロメント 事業	デジタル ソサエティ事業	エネルギー& インダストリー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	208,209	129,939	33,157	371,306	—	371,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	618	3	267	890	△890	—
計	208,828	129,942	33,425	372,196	△890	371,306
セグメント利益	46,000	19,676	4,245	69,921	△31	69,889

(注) 1. セグメント利益の調整額△31百万円は、セグメント間取引の調整であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、組織変更に伴い「エンバイロメント事業」に含まれていた低レベル放射性廃棄物処理装置を「エネルギー&インダストリー事業」へ変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間（自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	エンバイロメント 事業	デジタルソサエティ 事業	エネルギー& インダストリー事業	
主たる地域市場				
日本	22,384	22,852	24,800	70,037
北米	39,143	25,481	7,764	72,389
欧州	68,848	2,679	472	71,999
アジア	59,408	46,703	1,237	107,349
その他	2,695	109	1,622	4,427
計	192,480	97,825	35,897	326,204
主要な財又はサービスのライン				
自動車排ガス浄化用部品	148,927	—	—	148,927
センサー	32,931	—	—	32,931
産業機器関連	10,622	—	—	10,622
半導体製造装置用製品	—	69,726	—	69,726
電子部品	—	15,006	—	15,006
金属	—	13,092	—	13,092
エネルギープラント	—	—	5,082	5,082
がいし	—	—	24,133	24,133
その他	—	—	6,681	6,681
計	192,480	97,825	35,897	326,204
収益認識の時期				
一時点で移転される財又は サービス	189,890	97,825	31,575	319,291
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	2,590	—	4,321	6,912
計	192,480	97,825	35,897	326,204

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	エンバイロメント 事業	デジタルソサエティ 事業	エネルギー& インダストリー事業	
主たる地域市場				
日本	24,337	27,105	23,261	74,704
北米	48,346	31,484	6,865	86,695
欧州	73,994	3,265	81	77,341
アジア	58,133	67,973	778	126,885
その他	3,397	111	2,170	5,679
計	208,209	129,939	33,157	371,306
主要な財又はサービスのライン				
自動車排ガス浄化用部品	158,238	—	—	158,238
センサー	38,499	—	—	38,499
産業機器関連	11,471	—	—	11,471
半導体製造装置用製品	—	86,468	—	86,468
電子部品	—	27,106	—	27,106
金属	—	16,363	—	16,363
エネルギープラント	—	—	6,105	6,105
がいし	—	—	26,656	26,656
その他	—	—	395	395
計	208,209	129,939	33,157	371,306
収益認識の時期				
一時点で移転される財又は サービス	205,369	129,939	28,088	363,397
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	2,839	—	5,069	7,908
計	208,209	129,939	33,157	371,306

(注) 当中間連結会計期間より組織変更に伴い、セグメントを変更しております。あわせて、「産業機器関連」に含まれていた低レベル放射性廃棄物処理装置及び「がいし」に含まれていた機器(がいし洗浄装置・防災装置)について、「エネルギープラント」に含めて表示しております。なお、前中間連結会計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

2027年3月期 第2四半期(中間期) 決算発表補足資料

2026年10月30日
NGK株式会社

[セグメント間売上消去後]

□ は2026/4公表値

□ は2026/4公表値

	2026年3月期 ※1(セグメント変更後) 中間期		2027年3月期 中間期		前年 同期比		2026年3月期 ※1(セグメント変更後) 通期		2027年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比			実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	億円 3,262	100%	3,500 3,713	100%	+14%		6,701	100%	7,100 7,700	100%	+15%
<海外売上高合計>	<2,562>	79%	<2,966>	80%	+16%		<5,243>	78%	<6,200>	80%	+18%
営業利益 (率)	487 (15%)		530 699	(19%)	+44%		950 (14%)		1,070 1,300	(17%)	+37%
エンパイロメント事業 ("EN事業")	1,925	59%	1,950 2,082	56%	+8%		3,915	58%	4,000 4,250	55%	+9%
営業利益 (率)	367 (19%)		315 460	(22%)	+25%		670 (17%)		670 820	(19%)	+22%
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	978	30%	1,200 1,299	35%	+33%		2,054	31%	2,450 2,750	36%	+34%
営業利益 (率)	135 (14%)		180 197	(15%)	+46%		281 (14%)		360 410	(15%)	+46%
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	359	11%	350 332	9%	△8%		732	11%	650 700	9%	△4%
営業利益 (率)	△14 (一)		35 42	(13%)	-		3 (0%)		40 70	(10%)	27倍

		売上高比		売上高比	前年 同期比		売上高比		売上高比	前期比		
経常利益	467	14%	530	704	19%	+51%	952	14%	1,050	1,260	16%	+32%
親会社株主に帰属する 当期純利益	239	7%	450	608	16%	+155%	599	9%	820	1,000	13%	+67%
ROE	-		-				7.8%	10.0%		12.1%		
1株当たり当期純利益	81.58円		214.66円				206.32円	290.67円		354.02円		
配当金(配当性向)	38円		63円				80円(38.8%)	106円(36.5%)		126円(35.6%)		

為替レート(円/USD)

147

160

151

150

155

為替レート(円/EUR)

168

184

175

175

180

設備投資	255	8%	293	8%	+15%	558	8%	620	720	9%	+29%
減価償却費	278	9%	293	8%	+6%	575	9%	600	600	8%	+4%
研究開発費	148	5%	168	5%	+13%	318	5%	390	400	5%	+26%

本資料に記載の金額は、億円未満を四捨五入して表示しています。このため、合計値が内訳の合算と一致しない場合があります。

※1 2027年3月期の期首より事業セグメントを変更し、産業プロセスの原子力発電所向け低レベル放射性廃棄物処理装置事業をエンパイロメントからエネルギー&インダストリーに移管しています。この変更に伴い2026年3月期の経営成績についても同様のセグメント区分に組み替えて表示しています。

2027年3月期 第2四半期(中間期) 決算発表 補足資料

2026年10月30日
NGK株式会社

**第2四半期(中間期)実績 … 売上高、各利益とも第2四半期の過去最高を大幅に更新。
各セグメントとも、前年同期比で営業利益が増加。**

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

- 【EN事業】 … 増収・増益
・自動車関連 自動車市況は中国市場を始め弱さが見られるものの、当社製品需要は堅調に推移。為替円安や一部費用の発生時期のずれに加え、センサの白金価格影響等もあり利益が上振れ。
- 【DS事業】 … 増収・増益
・HPC※2 AIの社会実装進展を背景に半導体需要が大幅に増加。
・電子デバイス ハイセラムキャリアは、量産設備が順調に立ち上がり、出荷が増加。HDD用圧電素子も活況が継続。
- 【E&I事業】 … 減収・黒字転換 (NAS電池の製造・販売終了により減収。損益が大幅に改善)
・ガイシ 旺盛な米国のデータセンター投資に伴う電力インフラ強化により、売上、営業利益とも増加。

② 為替影響 売上高+178億円、営業利益+79億円
(前年同期147円/USD→当期160円/USD、168円/EUR→184円/EUR)

③ 営業外・特別損益

- ・事業整理損 2023年3月に終了を決定したがいしの知多工場について、受注を締切り、棚卸資産の評価損および資産の廃棄等、今後発生が見込まれる費用11億円を営業外費用として計上。
- ・投資有価証券売却益 政策保有株式の縮減を進め、投資有価証券売却益26億円を特別利益として計上。

④ 配当 中間63円で決議。(4月予想から10円の増配)

**通期 見通し … 前期比 増収・増益。
売上高、各利益とも通期の過去最高を更新する見込み。
4月公表値に対し、各セグメントとも増収増益を予想。**

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

- 【EN事業】 … 増収・増益
・自動車関連 当社製品の需要は堅調に推移する一方、費用発生や白金価格影響等の上期の一時的な押し上げ要因の反動を見込む。
- 【DS事業】 … 増収・増益
・HPC※2 AI用途の半導体需要の拡大が継続。
HPC需要も高水準で推移し、増収、増益見込み。
中長期的な更なる市場拡大を取り込むべく、積極的な投資で対応。
・電子デバイス ハイセラムキャリアは量産設備稼働本格化により、大きく売上が増加。利益も黒字化。パネル型やメモリ用途向け製品の開発を進め、更なる成長を図る。
- 【E&I事業】 … 減収・増益
・ガイシ 上期同様、米国を中心に活発なデータセンター投資が継続し、送配電網に対する投資も高水準で推移。売上高、営業利益とも前期比で増加する見通し。

② 為替影響
・前期比 売上高 +125億円、営業利益 +77億円
(前期151円/USD→当期155円/USD、175円/EUR→180円/EUR)
(下期為替前提:150円/USD、175円/EUR)

- ・下期1円当たりの影響 USD (売上高+9億円、営業利益+3.4億円)
EUR (売上高+3億円、営業利益+0.7億円)

③ 配当予想 中間63円に加え、期末63円の年間配当126円を予定。
(4月予想から年間20円増配予定)

※2 HPC…半導体製造装置用製品

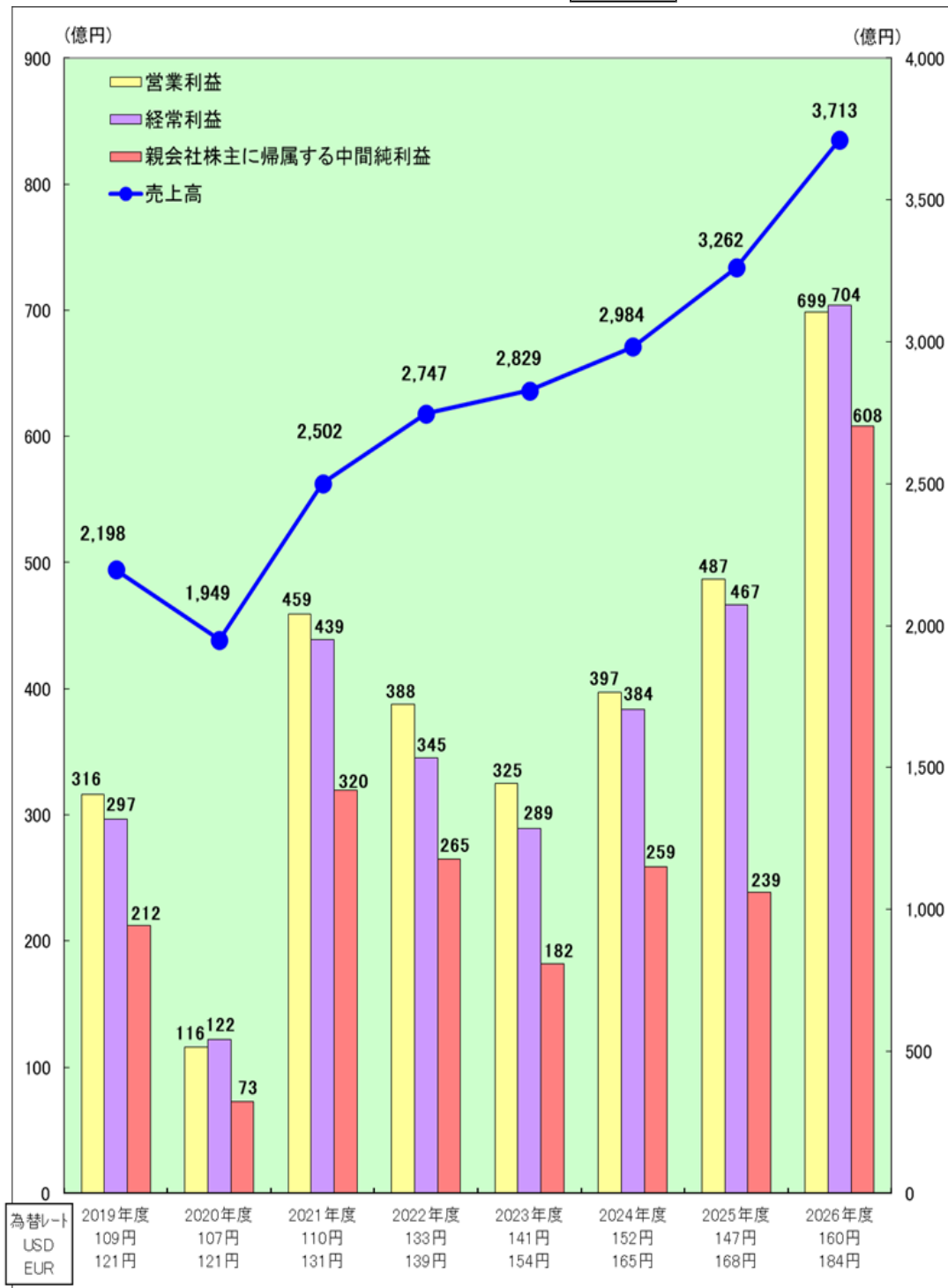
2026年10月30日
NGK株式会社

業績概況(連結・中間期)

(億円)

	前中間期(2025年度)	当中間期(2026年度)		前年同期比
売上高	3,262	3,500	3,713	+14%
営業利益	487	530	699	+44%
経常利益	467	530	704	+51%
親会社株主に帰属する 中間純利益	239	450	608	+155%

4月公表値



2026年10月30日
NGK株式会社

業績概況(連結・通期)

(億円)

	前期実績(2025年度)	当期見通し(2026年度)		前期比
売上高	6,701	7,100	7,700	+15%
営業利益	950	1,070	1,300	+37%
経常利益	952	1,050	1,260	+32%
親会社株主に帰属する当期純利益	599	820	1,000	+67%

4月公表値

